

平成 26 年 5 月

## 平成 26 年度 J A 都市農村交流全国協議会情報・意見交換集会の開催要領

### 1. 趣 旨

昨年度は、本協議会 2 期目の 3 カ年における新たな取組みとして「J A 交流事業」の展開と協議会事業活動を連動させ、「J A 都市農村交流から広がる新たな J A 交流事業」をテーマとしたパネルディスカッションをはじめ、J A による実践事例報告などを行い、会員相互の交流および情報の共有化を図った。

今年度は、2012 年の国際協同組合年にて確認された地域における協同組合の連携の重要性をテーマとしたパネルディスカッションを中心とし、J A 都市農村交流における各々の役割を越えた会員間の情報交換ならびに相互交流を目的に、本集会を以下のとおり開催する。

また、昨年度好評であった日本一のテーマパークを運営するオリエンタルランド社より「東京ディズニーリゾートの基本理念」をテーマとした記念講演を実施する。

### 2. 主 催

全国農業協同組合中央会  
J A 都市農村交流全国協議会

### 3. 開催日程

平成 26 年 7 月 17 日（木）17 時 30 分～18 日（金）15 時 45 分

※詳細は、別紙 1 「日程表」参照をご参照ください。

※17 日は、別途ご案内のとおり J A 全中「くらしの活動推進セミナー」

（11 時から 17 時 10 分）が開催されます。

### 4. 開催場所

J A ビル 4 F 401 会議室

〒100-6837 東京都千代田区大手町 1-3-1

※懇親会は同ビル 4 F 農業・農村ギャラリー「Minolé」（ミノール）にて開催

※別紙 2 「案内図」をご参照ください。

### 5. 対象者

都市農村交流・食農教育等くらしの活動に取り組んでいるまたは今後取り組む予定の J A ・中央会・連合会の役職員

### 6. 人員：70 名

## 7. 参加費用

### (1) Aコース 交流会＋セミナー

① J A都市農村交流全国協議会会員      お一人様    5,000円

② J A都市農村交流全国協議会会員外      お一人様 10,000円

### (2) Bコース セミナー

① J A都市農村交流全国協議会会員      お一人様    4,000円

② J A都市農村交流全国協議会会員外      お一人様    8,000円

※消費税、昼食、資料代、交流会代（Aコースのみ）含む

## 8. 研修申込締切日      平成26年7月4日（金）

## 9. 申し込み方法

研修会システムまたはFAX・e-mailにてお申し込みください。

[全中研修会システム（URL：<https://gnw.zenchu-ja.or.jp/janet/>）]

（県域によって、下記のいずれかの対応が基本となります）

### (1) 中央会によるとりまとめを行う県下の会員等

県中央会が示す方法に従ってください。

※J Aから中央会の申込について、別紙4「参加申込書」をご活用ください。

### (2) (1) 以外（個々の会員による直接入力）

各会員が研修会システム上において、必要な事項を入力してください。

### (3) (1) (2) 以外（全国機関等）

別紙5「参加申込書」にて、FAX又はe-mailにてお申し込みください。

※研修会システムについてご不明な場合は、都道府県中央会までお問い合わせ下さい。

## 10. 費用の決済方法

請求システムを活用して振替決済を行います。

引落日実施予定日    平成26年8月27日（水）

※研修会システム以外でのお申込みの場合は別途請求書を送付いたします。

### **本件に関するお問い合わせ**

J A都市農村交流全国協議会事務局

（J A全中    暮らしの活動推進課    担当：石岡・石井）

TEL：03-6665-6240／FAX：03-3217-5073      E-mail：[kurashi.s@zenchu-ja.or.jp](mailto:kurashi.s@zenchu-ja.or.jp)

## 平成26年度 J A都市農村交流全国協議会情報・意見交換集会日程表

## &lt;7月17日(木)・第一部 交流会&gt;

会場：J Aビル4階農村ギャラリーminole

時間	次第	内容
17:00～17:30	受付	
17:30～17:40	開会・挨拶	
17:40～18:40	[プログラム①：交流会]	協議会の会員同士が、各種活動のノウハウや悩み・課題などを共有し、今後の取り組みへの活力やヒントを得られる交流の機会とする。  ※非会員参加も歓迎 ※軽食・飲み物の用意あり
18:40～18:45	閉会	

## &lt;7月18日(金)・第二部 セミナー&gt;

会場：J Aビル4階401会議室

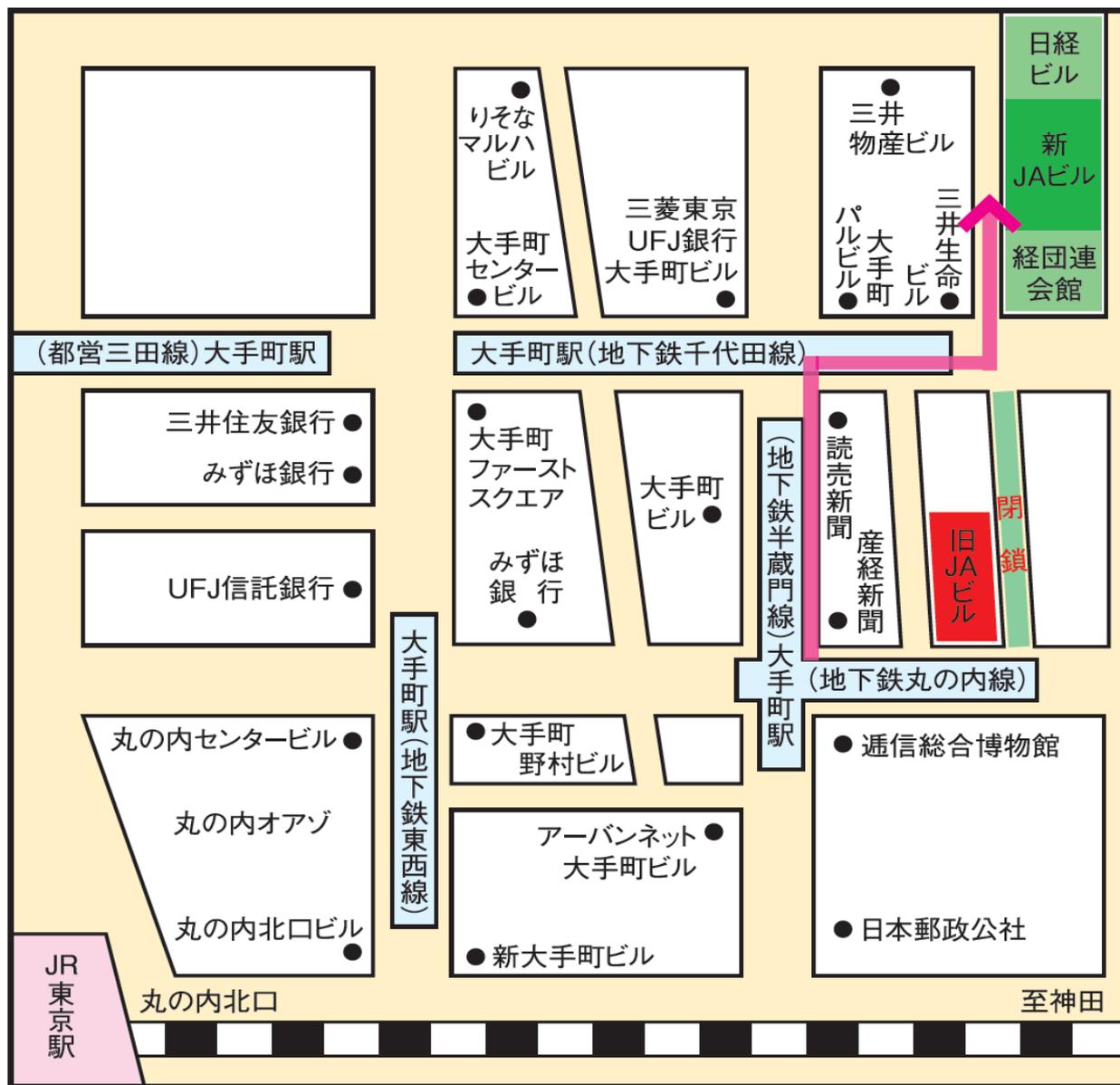
時間	次第	内容
09:00～09:30	受付	
09:30～09:40	開会・挨拶	
09:40～10:00	J A都市農村交流全国協議会活動報告 「平成26年度活動結果および今後の取り組みについて」 J A全中 暮らしの活動推進部	
10:00～12:00	[プログラム②：記念講演] テーマ「東京ディズニーリゾートサービスの基本理念」 株式会社オリエンタルランド マーケティング本部 マーケティング部 団体販売グループ マネージャー 松本 浩一 氏	東京ディズニーリゾートで働く全従業員が理解し、実践している「東京ディズニーリゾート サービスの基本理念」を基に、J A事業・活動の参考となる視点にて、「テーマパークとは」「行動指針」「研修制度」等について、実例などを交えながら紹介。
12:00～12:45	昼食	
12:45～13:15	グループ討議	参加者同士による感想などの意見交換を行いながら、講演内容を振り返り、理解を深める機会とする。

13:15～14:45	<p>[プログラム③:]  <b>パネルディスカッション]</b>  「協同組合の連携による『地域づくり』」</p> <p>&lt;パネリスト&gt;  J Aおうみ富士  食育園芸部 部長 川端 均 氏</p> <p>株式会社ジーピーエス  (パルシステムグループ会社)  事業本部 本部長 工藤 友明 氏</p> <p>一般社団法人全国農協観光協会  地域振興推進部  (子ども農山漁村交流プロジェクト  事務局長)  課長 出口 高靖 氏</p> <p>&lt;コーディネーター&gt;  J A全中 暮らしの活動推進部 (予定)</p>	<p>2012年国際協同組合年では協同組合間連携の重要性について確認され、J Aと生協、漁協などによる地域活動も各地で取組まれている。</p> <p>中でもJ Aと生協では、生産者と消費者の交流によって、産地・生産者を知ってもらい、産地ファンづくりへ繋げる取組みがある。この交流の目的として、産地が望む商品販売へ繋げるとは、生協・J A共通の目的でもあるが、果たしてその成果はどのようなのか？有効な交流とは何なのか？等、現状と今後の展望について討議する。</p> <p>また、今後の展望を語るにあたり、将来を担う子ども達との関わり方について、総務省・文科省・農水省の連携事業である「子ども農山漁村交流プロジェクト」の新たな取組みにも注目し、『地域づくり』との関係性を探る。</p>
14:45～15:00	休憩	
15:00～15:30	全体討議	<p>パネルディスカッションの討議を受け、会場全体にて、今後の取組みへの意見・情報交換を行い、課題提起や課題解決のヒントなど、今後に関わる情報共有が図れる機会とする。</p>
15:30～15:45	閉会・アンケート	

※講師・パネリスト紹介は、別紙3を参照ください。

# J Aビル案内図

会場：J Aビル4階「農村ギャラリーminole」、「401会議室」



【本件に関するお問い合わせ】

J A都市農村交流全国協議会事務局

(J A全中 暮らしの活動推進課 担当：石岡、石井)

TEL：03-6665-6240/FAX：03-3217-5073

E-mail：[kurashi.s@zenchu-ja.or.jp](mailto:kurashi.s@zenchu-ja.or.jp)

## 【講師・パネリスト紹介】

### プログラム②：記念講演

#### 【講師】

株式会社オリエントランド  
マーケティング本部 マーケティング部

団体販売グループ マネージャー 松本 浩一 氏 (まつもと こういち)

#### <略歴>

昭和 57 年 株式会社オリエントランド入社  
東京デイズニーランド商品部  
社内人材育成部署ユニバーシティ課  
営業四部学校担当セクションの責任者を経て現在に至る

### プログラム③：パネルディスカッション

#### 【パネリスト】

株式会社ジーピーエス（パルシステムグループ会社）

事業本部 本部長 工藤 友明 氏 (くどう ともあき)

#### <略歴>

外食産業、食肉関係の仕事を経験し、1991年に(株)首都圏コープ（現パル・ミート）に入社。首都圏コープ事業連合（現パルシステム）として組織拡大に向けて事業展開をしていく中で、いち早く専門化した食肉加工専門会社で経験し、2004年にパルシステム連合会産直事業部にて産直開発課に在籍、産直事業の青果・米・畜産・牛乳・卵を経験し、2008年から現職場の株式会社ジーピーエスで次の世代の産直事業への取り組みを行う。

#### <株式会社ジーピーエスとは>

当社は1992年にパルシステム生活協同組合連合会の農産事業部門が独立して誕生した、青果・米事業を行っている100%子会社です。産直の根幹に関する事業を特化して行うことで、産直産地ときめ細かな連携を取り、さまざまな活動を生産者と共に進めています。専門性を持って各産地と関係を築き上げていくことでパルシステム理念の環境保全型・資源循環型農業の拡大、発展につなげる役割を担っています。

主要業務内容は、1) パルシステム生活協同組合連合会の産直青果・米の企画・仕入れ・販売及び物流手配 2) 農産加工品の小分け・パック 3) その他、農業関連資材の開発普及販売等です。

2013 年度商品販売金額 25,415 百万（青果：15,934 百万、米：9,255 百万 その他：226 百万）

### 【パネリスト】

J A おうみ富士（ファーマーズ・マーケットおうみんち）

食育園芸部 部長 川端 均 氏（かわばた ひとし）

#### <略歴>

1960 年生 蟹座 B 型

昭和 59 年 4 月 旧中主町農協に入組

平成 9 年 2 月 1 日 JA 中主町、JA 滋賀野洲町、JA 守山市が合併し、JA おうみ富士となる。

金融、観光、企画改革推進、監査、支店、地区センターを経て 2008 年ファーマーズマーケット事業部部長で着任。2014 年度より食育園芸部長。

### 【いつも心がけていること】

イノベーションは 2 割まで  
1 本の大木より、100 本の箸  
遠回りほど、近道  
事業継続は、バランス活動

#### <ファーマーズ・マーケット「おうみんち」とは>

「おうみんち」は 2008 年 5 月に誕生した滋賀県の中でも最大級の規模を誇る農産物直売所です。地域の農業者の営農活動を 1 箇所に凝縮した農村の縮図です。

毎日約 2000 名の家族が一同に会する「交流」の拠点となっています。

施設は、少量多品種ながら、地場産率が 80%以上あり四季それぞれの食材が揃う「産地形成促進施設（農産物直売所）」、地元で採れた新鮮野菜を使い、地元のお母さんたちが一品ずつ手づくりして提供する“日々のおかず”をコンセプトにした手料理を味わうことができる「地域食材供給施設（バイキングレストラン）」、生産者と生産者・生産者と消費者・すべての来店者同士が集う「交流施設」の 3 施設から成り立ちます。

近年は、「つくる」「食べる」「つなげる」をキーワードに、食育や食農、グリーンツーリズムを含めた交流活動を活発に展開しています。

### 【パネリスト】

一般社団法人全国農協観光協会

（子ども農山漁村交流プロジェクト事務局長）

地域振興推進部 課長 出口 高靖 氏（でぐち たかやす）

#### <略歴>

現在、（社）全国農協観光協会 地域振興推進部 課長、子ども交流プロジェクト事務局長。

10年以上にわたりグリーンツーリズム事業・教育旅行に携わる。

「子ども農山漁村交流プロジェクト」の事務局として、平成21年から事務局長として携わってきた。

「新潟県農家民宿支援」、「みなかみ町教育旅行支援」、「種子島定住促進事業」の地域活性化支援事業、現在「みなかみ町藤原」、「南種子島」、「福島県双葉郡川内村」の地域支援事業の事務局長（平成25年～）として、地域振興を行っている。

農林漁家民宿おかあさん100選 選定委員会 オブザーバー（平成20年～21年）

佐渡地区農山漁村体験推進協議会 アドバイザー（平成23年～）

みなかみ町教育旅行協議会理事（平成22年～）

子ども農山漁村交流プロジェクト研究会 事務局長（平成22年～）

子ども農山漁村交流プロジェクト研究会 リスクマネジメント研修会 講師

中野区さと町連携事業 環境交流事業担当（平成24年）

子ども農山漁村プロジェクトの推進協議会委員（農林水産省 平成25年～）

空き家・廃校活用交流プロジェクト推進協議会委員（農林水産省 平成25年～）

法政大学大学院 公共政策研究科 公共政策学 博士後期課程（名和田是彦研究室）

#### <一般社団法人全国農協観光協会とは>

一般社団法人 全国農協観光協会は、農山漁村の自然環境や文化等に対するふれあいを通して、人間としてのうるおい、健全な精神醸成を求め、農山漁村と都市との交流の活動を支援する活動に取り組んでいます。

一方、農山漁村においては、過疎化や高齢化等による地域活力の低下という深刻な問題を克服するため、都市の動きに対応しながら、豊かな活力ある村づくりをめざし、特産品づくりや特色ある自然環境等の地域資源を活かし、訪れる都市住民とのふれあいの場づくり等につとめています。

## 平成 26 年度 J A 都市農村交流全国協議会 情報・意見交換集会

## 参加申込書

平成 26 年 月 日

J A → 各 J A 中央会

J A	中央会 部 課御中	F A X :
-----	-----------------	---------

下記のとおり申込みをします。

団体名	( ) J A 都市農村交流全国協議会会員				
	( ) J A 都市農村交流全国協議会非会員 いずれかに○印をお付け下さい				
連絡 担当者	部署名	役職名	氏名		
	電話番号		F A X 番号		
	E-mail :				
参加者	部署名	役職名	氏名 (ふりがな) 性別・年齢	A コース	B コース
1			男・女 ( ) 才		
2			男・女 ( ) 才		
3			男・女 ( ) 才		

※AまたはBコースの該当する欄に「○」を記載ください。

( J A 会員等の皆様へ )

※本申込書は、県中央会を経由して研修会の申込みを行う場合に限りご使用ください。

( 県中央会のご担当者様へ )

※県中央会から全中への報告は、「研修会システム」上より行っていただきますよう、

お願い申し上げます。

## 平成 26 年度 J A 都市農村交流全国協議会 情報・意見交換集会

## 受講申込書

平成 26 年 月 日

JA 都市農村交流全国協議会事務局 宛て

(JA 全中 暮らしの活動推進課内)

組織名： \_\_\_\_\_

部署名： \_\_\_\_\_

担当者名： \_\_\_\_\_

1. (ふりがな) 氏 名 性 別・年 齢	男 ・ 女 ( ) 才
2. 所 属	部 課
3. 役職名	
4. 緊急連絡先 (現在の勤務地)	住 所： T E L： F A X： E-mail： 携帯電話：
5. 参加費用 (要領 12 参照)	A コース [交流会+セミナー] 会 員 <input type="checkbox"/> 5,000 円 非会員 <input type="checkbox"/> 10,000 円  B コース [セミナー] 会 員 <input type="checkbox"/> 4,000 円 非会員 <input type="checkbox"/> 8,000 円
6. 備考	

注 1 : 締め切り 7 月 4 日 (金)

注 2 : この申込書は、本研修会の事務局・講師・参加者等に配布する名簿の作成のみに  
使用します。